

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	大腸憩室出血の出血点同定に対する水浸下観察の有用性に関する後ろ向き研究
当院の研究責任者	所 属：市立奈良病院 消化器内科 責任者：岸埜 高明
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	大腸憩室出血の大きな問題に低い出血点同定率(約2割)がある。憩室の内腔はしばしば狭く、観察が難しいことが原因として考えられる。その問題に対して、我々は憩室を水浸下観察することで対応している(Digestive Endoscopy、2018; 30: 121-122)。本法では、水圧で憩室が拡張し、内腔を鮮明に観察できることが特長である。今回、大腸憩室出血の出血点同定に対する水浸下観察の有用性を検証することを目的に後ろ向き研究を行った。
調査データの該当期間	2015年4月から2017年10月
本研究の対象及び方法(使用する試料等)	大腸憩室出血と診断し、内視鏡検査を施行した108例。
試料・情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	収集した情報は、名前などの患者様を特定できる個人情報除いて匿名化したしますので個人を特定できるような情報が外に漏れる可能性はありません。また研究結果は学会や学術雑誌などで発表される要諦ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	T E L : 0742-24-1251 担当者：消化器内科 岸埜 高明
備 考	本研究は過去に施行された治療を後ろ向きに検討するのみであり、患者様に新たな検査や費用の負担はありません。また研究の対象となる患者様に対しての謝礼もありません。